

福島県での企業立地 3つの

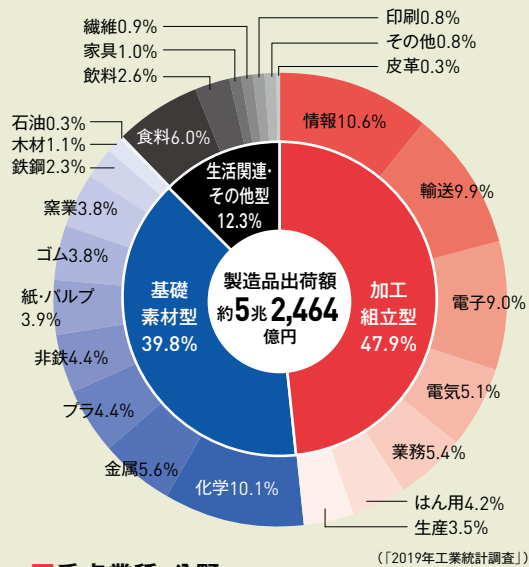
福島県の主要データ

人口	1,864,000 人
就業者数※1	922,133 人
GDP(名目)※2	7兆 9,054 億円
事業所数※1	85,960 事業所

※1「一目でわかる福島県の指標2020(福島県統計課編)」から抜粋
 (「令和2年版福島県勢要覧(福島県統計課編)」)
 ※2「平成30(2018)年度 福島県県民経済計算の概要」

■ビジネス環境

福島県の地域経済の概要



■重点業種・分野

ロボット関連業種

実証試験の実績* **502** 件

※福島ロボットテストフィールドおよび浜通り
 ロボット実証区域に誘致したロボット関連実証試験の件数 (2021年2月末現在)

航空宇宙関連産業

航空機	宇宙	航空機用エンジンの部分品・ 取り付け具・附属品出荷額
39 社参入	32 社参入	全国 2 位

(2020年9月時点) (経済産業省「2019年 工業統計調査」)

お問い合わせ窓口

日本貿易振興機構 福島貿易情報センター
 (ジェトロ福島) / JETRO Fukushima

TEL 024-947-9800 Mail fma@jetro.go.jp



メリット1

優れた人材

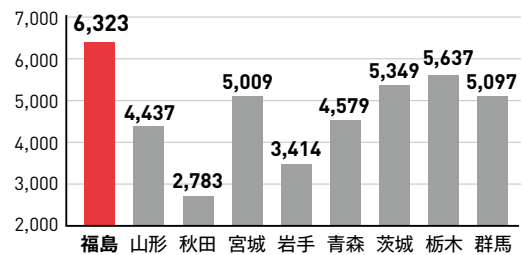
工業科学生数が多く、さらに「真面目で粘り強い
 人材が多い」と立地した企業に高評価。

工業科学生数 東北・北関東



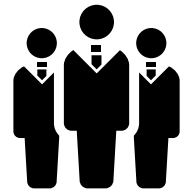
高等学校の工業科学生数 (単位:人)
 (男女計)

(2019年度学校基本調査)



学生1,000人当たりの 大学発ベンチャー数 会津大学

全国 **1** 位
 (2014年)



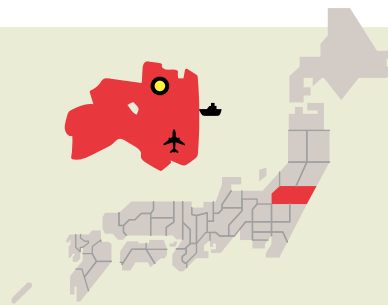
福島ロボットテスト フィールドへの来訪者数



35,000 名以上
 (2018年7月～)

メリット

新産業の育成・集積を図り、産業の復興、雇用の創出に取り組む福島県。ビジネス拠点にするメリットを紹介する。



メリット2

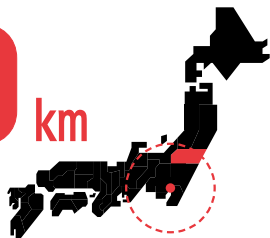
便利なインフラ

東北地方の南端の首都圏200km圏内に位置し、陸路、海路、空路いずれの交通基盤も充実。



首都圏から

200 km
圏内



東北新幹線
(郡山 - 東京間)



約 **75** 分

高速道路(郡山IC - 東京)

約 **3** 時間



小名浜港への外貿コンテナ



週 **3** 便

メリット3

全国トップクラスの支援制度

研究開発・連携・取引に関する支援を行い、企業活動・企業経営を多角的にサポート。



自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金
(国制度)

避難指示区域
などを対象



原則最大 **30** 億円

津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金(国制度)

国が指定する
工業団地など



原則最大 **30** 億円

原則最大 **5** 億円



ふくしま産業活性化企業立地促進補助金
次世代自動車、医療機器、航空宇宙
などに関する製造業中心

上限 **7** 億円

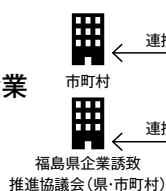


地域復興実用化開発等
促進事業費補助金
ロボットなど重点分野の
実用化開発支援

課税の特例
(福島イノベーション・コースト構想の
推進に係る税の優遇措置(イノベ税制)等)
機械等を取得した際に税額控除

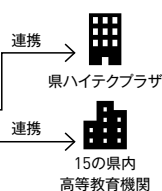
15 %
など

企業誘致・立地企業
サポート体制



企業誘致・立地企業振興対策本部
(本部長・知事)

- ・企業訪問推進チーム(地域担当制)
- ・立地企業訪問チーム(地域担当制)
- ・県外地方本部・関係部局



立地の際の各種手続きは、関係機関との緊密な連携により、ワンストップで支援。立地後は7地域の県地方振興局とともに、取引拡大や人材確保・育成等の多方面からフォロー。

※特に記載の無いものは「福島県企業立地ガイド」(2020年度版)より引用